

〈〈大 学 礼 拝〉〉

大学礼拝の意味

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」はイエス・キリストに由来します。神から授かった「命」は、私たちがキリストの「光」に照らされる時、神に「愛」されている尊い「いのち」であることに気付かされます。そして、キリストと共に「生」きる時、私たちは神を尊び、人々の「いのち」を尊び、世の「光」として人々を明るく照らし出すために励み、人々を隣人として「愛」することができます。これは聖書に則した教えであり、本院のモットーとして三人の校祖がこの言葉を心に留めて教育に励み、それ以来、守り継がれてきた教えです。この教えは、必修のキリスト教関連科目と日々の大学礼拝の実施において具現化されています。

大学における研究と教育の業績が利己的なものでも、特定の人や集団、民族や国家の利益のためのものでもなく、人類の文化や福祉に貢献するものとなるのは、この世界の創造者である神を私たち一人ひとりが認知し、この神の前において人間の平等とかけがえのなさを相互に認識するときです。その認識を得られるのが大学礼拝です。聖書をとおり、神との出会いの場となる礼拝をとおり、私たちは自らの有限性に気付かされます。人間に必要とされる真の謙遜は礼拝に起源します。大学礼拝は、東北学院の「建学の精神」を体現する教育の場なのです。

1886年に創設されて以来、東北学院の創設者と本学の歴史を担ってきた信仰と学問の諸先達は、戦争中のキリスト教教育の困難な時代をも含めて、138年の長きにわたって礼拝を大切にし、一日のうちの最も良い時と場所を神にささげてきました。今日の東北学院大学の構成員である学生の皆さんも、礼拝に出席し、これまでの歴史と伝統に輝かしい一頁を加え得る権利と義務のあることを誇りに思ってください。 (宗教部)

東北学院大学「学位授与の方針」

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。

聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。

2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。

高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力（コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど）及び英語力を身につけ、活用することができる。

3. 課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる。

地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、教養教育及び専門分野の学修成果を総合的に活用することで課題の解決案を提示することができる。

4. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる。

自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。

5. 専攻分野の学修成果を活用及び説明できる。

専攻する学問分野の専門的知識及び固有の認識や思考方法について、学修者自らが学修成果を活用し、「何を学び身につけたか」を説明できる。